

【第4学年国語】

取材した事柄を整理・分類し、必要な事柄を選択して文章を書く

1 指導計画

- 1 時間目 紹介文を書くために、必要な事柄を集めるための取材の仕方と取材メモの整理の仕方について理解する。
- 2 時間目 「始め－中－終わり」の内容に一貫性をもたせるために話題に沿った取材メモを選択したり、段落の役割を考えたりして組み立て表を作って構成を捉え、紹介文を書く。
- 3 時間目 魚屋についての紹介文を見直し、友達とも見直しながら条件に合った紹介文にする。

2 指導のポイント

本単元は、取材したことを基にして、書くために必要な取材メモを選択し、段落構成を意識しながら相手に伝わりやすい紹介文を書くことをねらっている。「話題に沿って必要な事柄を集め、選択する力」「段落の役割を理解し、文章を構成する力」「目的に応じて文章を見直す力」を付けるために、3時間に分けて指導していく。

1 時間目

林さんと店長さんのインタビューの様子と取材メモから、紹介文を書く際に必要な事柄を集めるためのメモの仕方を理解する。魚屋さんの取材を例に、必要な情報を短い言葉や箇条書きで書き、内容ごとに小見出しを付けてまとめる方法を理解し、取材メモを作る。

2 時間目

林さんの組み立て表と紹介文を対応させ、「始め－中－終わり」の内容に一貫性をもたせることの大切さと、組み立て表を基にした紹介文の書き方を理解する。

3 時間目

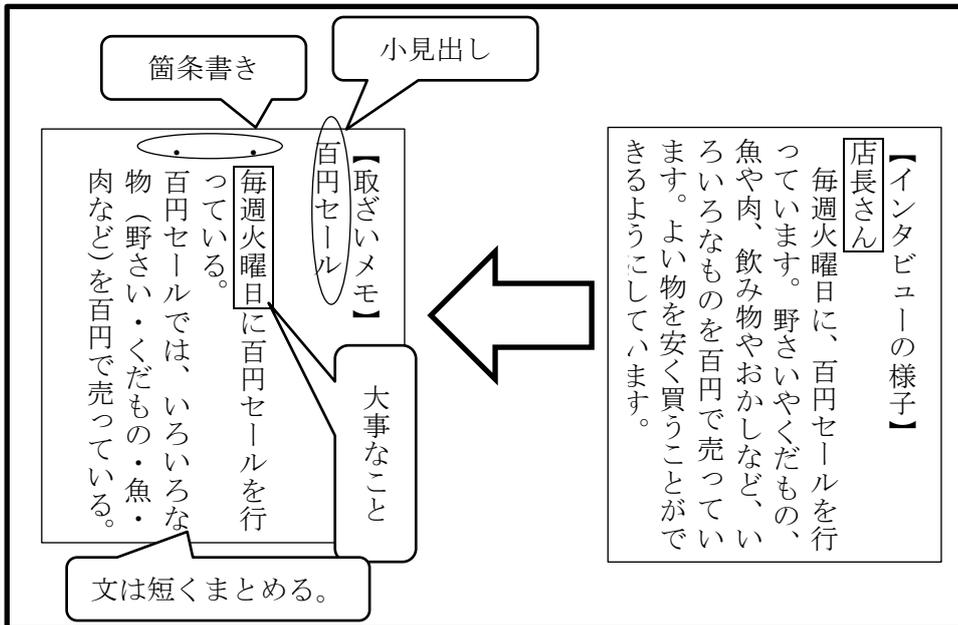
魚屋についての紹介文を、相手に伝わりやすいかという視点から見直し、条件に合った文章になるよう、交流しながら推敲する。

3 各時間の指導計画

(1) 紹介文を書くために必要な事柄を集めるための取材の仕方を考える。

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p><b>課題を把握する</b></p> <p>T 林さんのクラスでは、社会科の学習で学校の近くのお店について調べています。林さんのクラスにいるつもりで、お店の人が「お客さんにたくさん来てもらうためにしているくふう」を友達に紹介するための文章の書き方を考えていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29 問題を読み、課題を把握する。</li> <li>・紹介文を書く目的は、「友達にお店の工夫を伝えること」であることを確認する。</li> </ul>
<p><b>インタビューの仕方を考える</b></p> <p>T 林さんは、スーパーマーケットで店長さんにインタビューしました。みなさんがインタビューする時は、どんなことに気を付けますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なことを忘れないようにメモする。</li> <li>・丁寧な言葉で話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取材の方法について、自分たちの予想を立てさせ、考えをもたせる。</li> </ul>
<p><b>メモの仕方を考える</b></p> <p>T インタビューする時にメモを書くことは大切ですね。では、メモを書く時に気をつけることは何でしょうか。林さんの《インタビューの様子》と《取ざいメモ》を比べて考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い言葉や箇条書きで書く。</li> <li>・文は短くまとめる。</li> <li>・小見出しを付ける。</li> <li>・大事なことを落とさずに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの様子と取材メモの内容を比べさせ、発見したことを整理する。</li> <li>・メモする際に大切なことを学習内容としてまとめる。</li> </ul>

【インタビューの様子と取ざいメモの比較】の板書例



T それでは、実際に魚屋さんの話を聞いてメモを取ってみましょう。これから魚屋さんの話を読みます。皆さんは、ワークシートに「お客さんにたくさん来てもらえるような工夫」についての三つの取材メモを完成させましょう。小見出しは後から考えます。

【魚屋さんの話】

市場で仕入れた新鮮な魚を売っています。魚の専門店なので、スーパーなどで売っていないたくさんの種類の魚を売っています。この店ができたのは、今から40年前ですが、そのころからのお得意様も多いです。直接お客さんと話せるので、魚のことや魚の料理の仕方が分からない時は教えています。たくさん買ってくれた人にはおまけをしています。

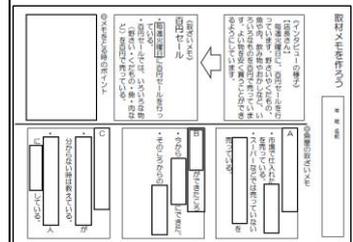
- ・市場で仕入れた新せんな魚を売っている。
- ・スーパーなどでは売っていないたくさんのしゅるいの魚を売っている。
- ・今から40年前にできた。
- ・魚のことや魚のりょう理の仕方が分からない時は教えている。
- ・たくさん買ってくれた人に、おまけしている。

T どんな小見出しにしたらいでしょうか。

- ・売っている品物
- ・お客さんへのサービス
- ・魚屋ができたころ
- ・取材したことが分かるようなまとめた言葉を小見出しにするといい。

T 小見出しを考えるとどんな内容のメモなのか一目で分かるようになりますね。

- メモを取るときに大切なことを理解し、ワークシートにまとめている。
- \*ワークシートファイル参照

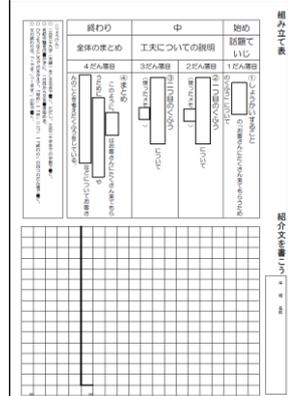


- ・小見出しは、メモが終わってから考えさせる。
- ・問題の三ページに小見出しが載っているのので、それを見ないで考えさせる。
- ・魚屋さんの話は、児童の実態に応じて二回読んでもよい。
- ・小見出しは内容を端的に表している言葉であればよい。

- 取材内容に合う小見出しを考えようとしている。

(2) 取材メモの内容を吟味して、話題に合った取材メモを選択し、「始め—中—終わり」の段落の役割を理解して組み立て表を作る。

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p><b>課題を把握する</b></p>	<p>・留意点 □評価</p>
<p>T 前時では、取材メモのまとめ方を学習して魚屋さんの取材メモを書きました。今回は、紹介文を書くための組み立て表を作り、紹介文を書きます。</p>	<p>・単元と本時の課題を確認する。 ・組み立て表の役目を確認する。</p>
<p><b>文章構成の確認</b></p> <p>T 林さんの組み立て表はどのような構成になっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「始め—中—終わり」になっている。</li> <li>・中が二つに分かれている。</li> <li>・「始め」には、これから紹介することについて書いてある。</li> <li>・「終わり」にはまとめが書いてある。</li> </ul> <p>T 林さんが四つの取材メモの中から紹介文に書くために使ったメモはどれでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イトウ。どちらも「お客さんにたくさん来てもらうためのくふう」だ。</li> </ul>	<p>・組み立て表から、構成を考えさせる。「始め」は話題提示や問題提起、「中」は説明、「終わり」はまとめや主張という役割を押さえる。</p> <p>・「お客さんにたくさん来てもらうためのくふう」にあった事柄を選ぶ必要性を押さえる。</p> <p>・エの取材メモについては、選択してもよいが林さんが選ばなかったということを確認してもよい。</p>
<p><b>必要な事柄の選び方</b></p> <p>T 林さんは、なぜ「ア スーパーマーケットができたころ」のメモを選ばなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモの内容が「お客さんにたくさん来てもらうためのくふう」に合わないから。</li> </ul>	<p>□話題に合った取材メモを選択している。</p> <p>*ワークシートファイル参照</p>
<p><b>組み立て表の書き方</b></p> <p>T 林さんの組み立て表を参考に、魚屋の紹介文の組み立て表を作ります。三つのうちの取材メモを使いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AとC。お店の工夫だから。</li> <li>・Bは話題に合っていないから。</li> </ul> <p>T 使う取材メモが決まったので、空欄に入る言葉を埋めて組み立て表を完成させましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「始め」は話題提示だから、何のお店の紹介か分かるようにしよう。</li> <li>・「終わり」は、全体のまとめだから、「中」に使った取材メモの小見出しを使うとよさそうだ。</li> </ul>	<p>□話題に合った取材メモを選択している。</p> <p>*ワークシートファイル参照</p>
<p><b>取材メモの文章化</b></p> <p>T 林さんが書いた紹介文を読んで、取材メモを紹介文にするとき、どんなことに気を付けると相手に伝わりやすい文になりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つ目は」などの言葉で伝わりやすくする。</li> <li>・話題が変わった時に改行する。</li> <li>・段落の最初に伝えたい内容を一文で書く。</li> <li>・文末を目的に合わせてそろえる。</li> </ul>	<p>□話題に合った取材メモを選択している。</p> <p>*ワークシートファイル参照</p>
<p><b>紹介文を書く</b></p> <p>T 条件を確認して、自分が選んだお店の紹介文を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・239字を超えるけれど、320字を超えてはいけない。原稿用紙の線を見て確認する。</li> <li>・段落が四つになるのは、「中」の部分が二つの段落になるからだ。</li> <li>・文の終わりはていねいな形で書く。途中混ざらないように気を付ける。</li> </ul> <p>T 取材メモと組み立て表を使うと、どんな順序で書くか、書く内容がはっきりしていて安心して書くことができますね。</p>	<p>・「終わり」は「中」の話題にふれて全体をまとめるようにさせる。そのために小見出しを活用するとよいことを説明する。</p> <p>□取材メモと組み立て表を使って相手に伝わりやすい紹介文を書いている。</p>



(3) 書いた紹介文を読み直し、友達と読み合いながらより伝わりやすい紹介文にする。

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>課題を把握する</p> <p>T 魚屋の工夫について紹介する文章を見直しましょう。読む人の立場に立って伝わりやすい表現になっているか確認します。</p> <p>T 見直し前の紹介文を見てください。直さなければならないところはどこでしょうか。見つけて線を引きましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="164 551 730 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見直し後】</p> <p>ぼくは、魚屋の「お客さん</p> <p>にたくさんきてもらうための</p> <p>くふう」についてしようかい</p> <p>します。</p> <p>一つ目は、売っている品物</p> <p>についてのくふうです。市場</p> <p>で仕入れた新せんな魚を売っ</p> <p>ています。魚のせん門店なの</p> <p>で、たくさんしゆるいの魚</p> <p>を売っています。</p> <p>二つ目は、お客さんへのサ</p> <p>ービスについてのくふうで</p> <p>す。</p> </div> <div data-bbox="927 551 1442 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見直し前】</p> <p>ぼくは、魚屋の「お客さん</p> <p>にたくさんきてもらうための</p> <p>くふう」です。</p> <p>一つ目は、売っている品物</p> <p>についてのくふうです。市場</p> <p>で仕入れた新せんな魚を売っ</p> <p>ている。魚のせん門店なので、</p> <p>たくさんしゆるいの魚を売</p> <p>っています。二つ目は、お客</p> <p>さんへのサービスについての</p> <p>くふうです。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="201 987 687 1088" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>話題が変わっているのに、改行されず段落が分けられていない。</p> </div> <div data-bbox="707 987 1066 1088" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>敬体と常体が混ざっている。</p> </div> <div data-bbox="1085 987 1442 1088" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>主語と述語の関係がねじれている。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を把握する。</li> <li>・直さなければならないところに線を引かせる。</li> <li>・ワークシートファイル参照</li> </ul>
<p>紹介文を交流し合い、文章を見直す</p> <p>T 紹介文をペアで友達と読み合い、見直しカードのポイントがクリアできているかお互いにアドバイスしましょう。初めに自分でチェックし、終わった人同士で読み合いを行います。自分で気が付いたことや友達へのアドバイスは赤で書き込んで、分かるようにしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語のねじれがあった。文末を直すと整った文になりそうだ。</li> <li>・段落が四つになっていない。一マス空けるところを直すといい。</li> <li>・文末がそろっていないところがあった。ていねいな形に直そう。</li> <li>・中が二つになって、選んだ《取材メモ》の通りに書いている。</li> </ul> <p>【直し方の例】</p> <div data-bbox="220 1473 1086 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見直し前】</p> <p>ぼくは、魚屋の「お客さん</p> <p>にたくさんきてもらうための</p> <p>くふう」<del>です。</del></p> <p>一つ目は、売っている品物</p> <p>についてのくふうです。市場</p> <p>で仕入れた新せんな魚を売っ</p> <p>ています。<del>魚のせん門店なので、</del></p> <p>たくさんしゆるいの魚を売</p> <p>っています。二つ目は、お客</p> <p>さんへのサービスについての</p> <p>くふうです。</p> </div> <p>T 見直しした紹介文の清書をしましょう。</p> <p>T 今回の学習で、取材した内容に合った小見出しの付け方や「始め—中—終わり」の構成を考えた文章の書き方が分かりましたね。これからも、この書き方を生かして、相手に伝わりやすい文章を書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推敲のポイントを明示した見直しカードを用意する。</li> </ul> <div data-bbox="1129 1308 1453 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>見直しカード</p> <p>① 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>② 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>③ 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>④ 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>⑤ 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>⑥ 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>⑦ 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>⑧ 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>⑨ 推敲のポイントが明示されているか</p> <p>⑩ 推敲のポイントが明示されているか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直し方について記号を指導し、その記号の意味を理解して整った文章に清書させる。</li> </ul> <p>□見直しすることで、条件に合った紹介文を書こうとしている。</p>

